第4回継続教育コース・医学図書館研究会報告

諸 永 勝 利*

久留米大学医学図書館

日本医学図書館協会主催の第4回継続教育コース・医学図書館研究会が九州地区の担当で、去る1997年11月12日（水）から14日（金）の3日間、久留米大学附属図書館御井学舎分館AVホールで開催された。

日本医学図書館研究会と継続教育コースは、日本医学図書館協会の教育事業の一環として実施されているものである。研究会は医学図書館員が職務に関連した事例報告、または研究の成果を発表する場を提供することを目的とするもので、全国から13名の発表者があり、参加者との問題提起、質疑応答も活発に行われ意義あるものであった。

また、継続教育コースは医学資料・情報を扱うための知識を共有し、会員相互の能力を向上させることによって図書館の利用者に、より良いサービスを提供することを目的とするものである。今回は二人の講師を招いて講演をお願いした。

市古みどり氏（慶應大学医学メディアセンター）は「医学図書館のレファレンスサービスについて」の内容でインターネットを利用するレファレンスサービスの紹介等があり、将来へのレファレンスサービスの方向性を示された。

翌日の陶山昭彦氏（鳥取大学衛生学）は「インターネット情報整理学」と題して講演をされた。参加者全員の感想は大変好評であったと思われる。

1. プログラムの内容

11月12日（水）

<医学図書館研究会>

9:00 受付

9:10 オリエンテーション

9:20 開会・挨拶

9:30 研究発表

1. 中国・四国地区医療機関図書室（館）ネットワークの活動について

（内野ますみ 新日鉄八幡記念病院）

2. Virtual Medical Library について

（野原千鶴 済生会下関総合病院）

3. 医学図書館における分担収集・分担保存について－慶應義塾大学医学メディアセンターの場合－

（五十嵐由美子 慶應義塾大学）

10:30 休憩

10:40 研究発表

4. 自治医科大学図書館におけるCD-ROM ネットワークの形成

（奈良岡功 自治医科大学）

5. 電子ジャーナルにおけるPeer Reviewの現状と今後の動向

（廣井 聡 奈良県立医科大学）

6. ホームページの公開と運用－大阪大学附属図書館生命科学分館の事例報告

（久保山健 大阪大学）

*Katsutoshi MORONAGA:〒830-0011 久留米市旭町 67.

(1997年12月11日 受理)

11:40 昼休み

13:00~14:30

目録データベースの新しい試み

(講師 宍道 勉 鳥取女子短期大学)

15:00~17:00 記念写真撮影, 石橋美術館見学

18:00~19:30 懇親会

11月13日(木)

9:00 研究発表

7. ADONIS による欧文雑誌検索について

(高橋百合 国際医学情報センター)

8. ネットワーク検索時代におけるキーワード
の役割

(平輪麻里子 東邦大学)

9. ある文献を追って—過去・現在・未来—

(岸 友子 川崎医科大学)

10:00 休憩

10:10 研究発表

10. サービス向上を目指した雑誌利用頻度調査

(磯野龍一郎 福岡大学)

11. 当館における利用サービス部門の利用者評価
と今後の課題—アンケート調査の結果による
分析から—

(山田友子 東京慈恵会医科大学)

12. 大学図書館と付加価値—本年度行った事例—

(三浦 誠 九州大学)

13. 医学図書館の地域公開について—岡山大学
附属図書館鹿田分館の現状と今後のあり方—

(森谷めぐみ 岡山大学)

11:30 閉会

＜継続教育コース＞

12:30 受付

13:00~17:00 継続教育コース(1)

医学図書館のレファレンスサービス

(講師 市古みどり 慶應義塾大学医学メ
ディアセンター)

11月14日(金)

8:30 受付

9:00 継続教育コース(2)

インターネット情報整理学

(講師 陶山昭彦 鳥取大学衛生学)

13:00 終了

2. 準備と運営

平成9年1月16日, 第70回日本医学図書館協会総会についての準備委員会(仮称)を福岡大学で開催。その時, 奥井次長(久大)から事情の説明があり, 九州地区で第4回継続教育コース・医学図書館研究会開催を引き受けることを提案, 了承。近々に事務局より教育担当理事が来学するので3役員を決めておくよう説明。実行委員長(諸永, 久大), 書記(三浦, 九大), 会計(小柳, 福岡歯科大)を決定。

平成9年1月20日, 事務局より実行委員会委員の委嘱依頼あり。

平成9年1月30日, 第1回実行委員会(於, 久大御井)を開催。医図協より教育担当理事来学。前回の継続教育コース・研究会のマニュアルの説明を聞く(議題: 1. 実行委員長挨拶 2. 教育担当理事の紹介 3. 開催日, 会場について 4. 実行委員会のスケジュールについて 5. 予算(案)について)

平成9年2月17日, 喜多理事から連絡。第1回実行委員会で予算の概略を決めたがかなりきつい予算であり, 研究会等の経費についてはJMLAの重要事業であり地域(特に遠隔地)で不利・不平等があれば好ましくないで十分に検討してほしい旨の提案があったこと。事務局としては予算を検討したが補助金では賄えないので増額をお願いした。

平成9年3月26日, 第2回実行委員会(於, 久大医学)(議題: 1. 第4回継続教育コース・医学図書館研究会の開催及び研究発表者の募集に

について（通知第一報） 2. 予算について 3. 会計担当委員の人事異動に伴い委員の辞退申し出あり、同館から委員を選出してもらうよう依頼 4. 広報について）

平成9年7月10日、医学図書館研究会の発表者へ発表要旨、執筆要領について依頼。

平成9年9月19日、第3回実行委員会（於、久大医学）（議題：1. 第4回継続教育コース・医学図書館研究会プログラム（案） 2. 予稿集の印刷について 3. 機材等の確認、発表者、講師に機材等を確認することを決定 4. 研究会前日の作業・当日の人員配置、役割分担等の各項目の検討 5. 次回の実行委員会の開催について）

平成9年11月11日、第4回実行委員会（於、久大御井）（議題：第4回継続教育コース・医学図書館研究会前日・当日の作業について；1. 研究会の講師・発表者の使用する機材について（確認済み） 2. 研究会前日の作業の確認；掲示物作成・参加者名簿・参加者名札（色分け）・買い出し・機材チェック・弁当手配・会場設営・配布資料準備 3. 当日の人員配置；研究会、継続教育コースの受け付け等 4. 石橋美術館の人員配置、スクールバス等の手配について 5. 懇親会場の手配）

平成9年11月14日、第5回実行委員会（反省会）（議題：1. 会計報告 2. 引継事項；1）パソコン機種のメーカー、型を伝える必要あり（液晶プロジェクター） 2）今回は地方独自の企画で、石橋美術館に行けるゆとりがあり良かった 3）その他・質疑応答が活発に行われた・地方で開催され、普段出席できない方が出席でき良かった・モデレータへの通知だけでどのセッションか案内がなかった・タイムキーパーは部外者の方がよいのでは・継続教育コースの講師は医学図書館協会を決めてもらったほうがよい・ホテルの割引

について連絡できないこともあった・地方開催の場合のスタッフに女性や、若い人が少なかった（係長以上で機動性等に問題があったのではないと思われる）

3. おわりに

今日の医学図書館は学術研究の高度化、国際化が進み、利用者が必要とする情報が飛躍的に増大する一方、コンピュータ、インターネットと通信技術の発達による情報環境の変化、利用者の情報利用行動の変化、図書館サービスのあり方等、様々な問題を抱えている。医学図書館員は今後も利用者により良いサービスを提供して行くために日頃から目的意識をもって業務に取り組んでゆかねばならないと考えられる。

また、医学図書館のより一層充実した方策を探索するとともに電子図書館的な機能を向上させ、21世紀に向けての医学図書館のステップとなることを願うものである。

今回、会の運営にあたりいろいろとご協力とご援助を頂いた講師（穴道、市古、陶山各氏）、協会事務局（津野氏）、教育担当理事（廣井氏）、教育担当委員（生出氏）に厚くお礼を申し上げます。

また、九州地区加盟館の実行委員の皆様、大学関係の方々にこの誌面を借りまして深く感謝いたします。

実行委員（順不同）

諸永 勝利（久大）
山田 利秋（福岡大）
三浦 誠（九大）
喜多 芳明（長崎大）
安陪 光恭（熊本大）
山川 良一（福岡歯科大）
奥井 年（久大）
橋本 民子（久大）